

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（２０１９年１月～３月期実績、２０１９年４月～６月期見通し）

１ 県内商工会地区における産業全体景況

３期ぶりにすべての指標が改善

今期の産業全体の景況は、売上額ＤＩが△１１．４、採算ＤＩが△１９．４、資金繰りＤＩが△８．６となり対前期比でそれぞれ３．２ポイント、３．７ポイント、０．３ポイント増加し、すべての指標で好転・上昇に転じた。

次期は、売上額ＤＩ、採算ＤＩ、資金繰りＤＩのすべてのＤＩが０．６ポイントから３．８ポイントの間で小幅に悪化する見通しである。

業種別では、建設業ですべての指標が好転した。

産業全体の主要３ＤＩの対前年同期比推移

・売上額ＤＩ	△１１．４（対前期比 ３．２ 好転）	次期予想	△１５．２（対前期比 △３．８ 悪化）
・採 算ＤＩ	△１９．４（対前期比 ３．７ 上昇）	次期予想	△２１．４（対前期比 △２．０ 悪化）
・資金繰りＤＩ	△８．６（対前期比 ０．３ 上昇）	次期予想	△９．２（対前期比 △０．６ 悪化）

産業全体景況天気図

時 期	売上額ＤＩ		採算ＤＩ		資金繰りＤＩ	
2018年4月～6月		△4.5 		△16.3 		△7.4 
2018年7月～9月		△13.5 		△23.2 		△12.4 
2018年10月～12月		△14.6 		△23.1 		△8.9 
2019年1月～3月		△11.4 		△19.4 		△8.6 
2019年4月～6月 （見通し）		△15.2 		△21.4 		△9.2 

2 業 種 別 景 況

(1) 製造業

製造業は採算D I、資金繰りD Iが好転

製造業では、売上額D Iが△8.9となり、対前年比で6.0ポイント低下し、2期連続のマイナスとなった。採算D Iは△11.8となり、対前期比で14.7ポイント上昇、大幅な数値の改善が見られ、4期ぶりの好転となった。資金繰りD Iは△6.0となり、好転した。

次期は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iすべての指標が悪化・低下する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △8.9 (対前期比 △6.0 低下) 次期予想 △17.7 (対前期比 △8.8 低下)
- ・採 算D I △11.8 (対前期比 14.7 好転) 次期予想 △17.7 (対前期比 △5.9 悪化)
- ・資金繰りD I △6.0 (対前期比 5.7 好転) 次期予想 △6.2 (対前期比 △0.2 悪化)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年 4月～6月		11.8 		△17.6 		△5.9 
2018年 7月～9月		11.8 		△20.6 		△5.9 
2018年 10月～12月		△2.9 		△26.5 		△11.7 
2019年 1月～3月		△8.9 		△11.8 		△6.0 
2019年 4月～6月 (見通し)		△17.7 		△17.7 		△6.2 

(2) 建設業

建設業は売上額D I が2ケタの大幅改善

建設業では、売上額D I は2期連続で低下していたが、今期は8.8ポイントとなり対前期比で24.8ポイント大幅に改善し、プラスの数値に転じた。採算D I は△12.0、資金繰りD I は0.0となり、対前期比でそれぞれ4.0ポイント好転した。すべての指標が好転した。

次期は、売上額D I と採算D I が悪化に転じ、資金繰りD I は横這いとなる見通しである。

主要3D I の対前年同期比推移

- ・売上額D I 8.8 (対前期比 24.8 好転) 次期予想 △16.0 (対前期比 △24.8 悪化)
- ・採 算D I △12.0 (対前期比 4.0 好転) 次期予想 △20.0 (対前期比 △8.0 悪化)
- ・資金繰りD I 0.0 (対前期比 4.0 好転) 次期予想 0.0 (対前期比 0.0 横這)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年4月～6月		△4.1 		△12.0 		4.2 
2018年7月～9月		△8.0 		△16.0 		0.0 
2018年10月～12月		△16.0 		△16.0 		△4.0 
2019年1月～3月		8.8 		△12.0 		0.0 
2019年4月～6月 (見通し)		△16.0 		△20.0 		0.0 

(3) 小売業

小売業の景況感はほぼ横這い

小売業では、売上額D Iが△14.9、採算D Iが△34.0となり、対前期比でそれぞれ1.8ポイント、2.2ポイント好転した。資金繰りD Iは△17.4となり、0.8ポイント悪化した。前期から引き続き回復基調ではあるが、小幅な変動にとどまった。

次期は、売上額D Iは悪化に転じるが、採算D Iと資金繰りD Iは上昇・好転する見通しである。

主要3 D I の対前年同期比推移

- ・売上額D I △14.9 (対前期比 1.8 上昇) 次期予想 △29.8 (対前期比 △14.9 悪化)
- ・採 算D I △34.0 (対前期比 2.2 上昇) 次期予想 △31.9 (対前期比 2.1 上昇)
- ・資金繰りD I △17.4 (対前期比 △0.8 悪化) 次期予想 △15.2 (対前期比 2.2 好転)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年4月～6月		△18.7 		△23.0 		△10.7 
2018年7月～9月		△22.8 		△42.6 		△23.4 
2018年10月～12月		△16.7 		△36.2 		△16.6 
2019年1月～3月		△14.9 		△34.0 		△17.4 
2019年4月～6月 (見通し)		△29.8 		△31.9 		△15.2 

(4) サービス業

サービス業の景況感もほぼ横這い

サービス業では、売上額D Iが $\Delta 16.9$ となり、対前期比で1.1ポイント上昇した。採算D Iは $\Delta 15.9$ となり、3期連続で低下したが、マイナスは小幅にとどまった。資金繰りD Iは $\Delta 7.1$ となり、3.0ポイントのマイナスとなった。前期は4期ぶりに好転したが、再び悪化に転じた。

次期は、売上額D Iが引き続き上昇する見込みで、採算D Iと資金繰りD Iはわずかながら低下する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 16.9$ (対前期比 1.1 上昇) 次期予想 $\Delta 4.2$ (対前期比 12.7 上昇)
- ・採 算D I $\Delta 15.9$ (対前期比 $\Delta 0.6$ 低下) 次期予想 $\Delta 16.4$ (対前期比 $\Delta 0.5$ 低下)
- ・資金繰りD I $\Delta 7.1$ (対前期比 $\Delta 3.0$ 悪化) 次期予想 $\Delta 9.9$ (対前期比 $\Delta 2.8$ 低下)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年4月～6月		$\Delta 2.8$ 		$\Delta 12.6$ 		$\Delta 9.9$ 
2018年7月～9月		$\Delta 21.2$ 		$\Delta 14.0$ 		$\Delta 12.7$ 
2018年10月～12月		$\Delta 18.0$ 		$\Delta 15.3$ 		$\Delta 4.1$ 
2019年1月～3月		$\Delta 16.9$ 		$\Delta 15.9$ 		$\Delta 7.1$ 
2019年4月～6月 (見通し)		$\Delta 4.2$ 		$\Delta 16.4$ 		$\Delta 9.9$ 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製 造 業	17.6%	工場建物、生産設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器 福利厚生施設、その他	17.6%	工場建物、生産設備 車両運搬具、OA機器 その他
建 設 業	4.0%	車両運搬具	16.0%	建物、建設機械 付帯施設、その他
小 売 業	4.3%	車両運搬具、付帯施設	10.6%	店舗、販売設備 車両運搬具、OA機器
サービス業	7.0%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 その他	9.9%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製 造 業	1 位	原材料価格の上昇	21.9%
		需要の停滞	
	3 位	生産設備の不足・老朽化	18.7%
建 設 業	1 位	材料価格の上昇	18.7%
		請負単価の低下、上昇難	
	3 位	官公需要の停滞	12.5%
小 売 業	1 位	購買力の他地域への流出	22.0%
	2 位	需要の停滞	17.1%
	3 位	販売単価の低下、上昇難	14.6%
サービス業	1 位	利用者ニーズの変化	16.9%
	2 位	店舗施設の狭隘・老朽化	15.3%
	3 位	材料等仕入単価の上昇	11.9%
		需要の停滞	

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2019年1月から3月の第4四半期を対象とし、調査時点は2019年3月1日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業48企業、サービス業72企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD I とは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加（上昇、好転）企業割合から減少（低下、悪化）企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成31年4月24日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

T E L : 052-562-0041

商工会は行きます 聞きます 提案します ～会員満足向上運動～